



## 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社

コード番号 6965

URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 晝馬 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 嶋津 忠彦

TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日

平成26年6月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	56,680	12.3	11,078	30.6	11,422	25.8	7,468	30.3
25年9月期第2四半期	50,474	△0.5	8,483	△13.1	9,083	△10.8	5,731	△6.3

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 9,261百万円 (△4.0%) 25年9月期第2四半期 9,648百万円 (41.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	92.90	—
25年9月期第2四半期	71.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	207,494	161,471	77.6
25年9月期	198,278	154,385	77.6

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 160,912百万円 25年9月期 153,873百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	23.00	—	27.00	50.00
26年9月期	—	25.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,200	12.8	21,900	30.5	22,300	24.7	15,100	31.0	187.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	83,764,984 株	25年9月期	83,764,984 株
26年9月期2Q	3,370,469 株	25年9月期	3,370,195 株
26年9月期2Q	80,394,672 株	25年9月期2Q	80,394,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が持ち直し傾向にある中で、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費は底堅く推移し、企業収益改善に伴う設備投資が上向くなど、緩やかな景気回復基調の中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、光に関する研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた新製品の開発に努めるとともに、積極的な設備投資を継続することにより、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は56,680百万円と前年同期に比べ6,205百万円(12.3%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は11,078百万円と前年同期に比べ2,595百万円(30.6%)の増加、経常利益は11,422百万円と前年同期に比べ2,339百万円(25.8%)の増加、四半期純利益は7,468百万円と前年同期に比べ1,736百万円(30.3%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電子管事業]

光電子増倍管は、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが堅調に推移するとともに、海外における深海ニュートリノ実験等の学術分野向けの売上げが増加いたしました。さらに、バイオ分野で用いられるレーザスキャン顕微鏡向け等がその高感度を評価されて売上げを伸ばしました。しかしながら、放射線計測用等の売上げが減少いたしました。

イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが米国を中心に引続き増加いたしました。また、産業分野におきまして、半導体検査装置向けのキセノンランプ等の売上げが好調であったほか、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源が高精細な透過画像を得られる点が評価され、売上げを伸ばしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は23,092百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は8,598百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

#### [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードが、国内外の需要が回復し売上げが増加したほか、フラットパネルセンサが、高解像度や高分解能などを高く評価され、歯科用を中心に引続き好調に推移いたしました。さらに、産業分野におきましても、イメージセンサが半導体検査装置向けの需要が高まり売上げが増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は24,610百万円(前年同期比20.8%増)、営業利益は8,158百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

#### [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、デジタルカメラが、生命科学やバイオ分野において好調に推移するとともに、電子機器の基板検査等に用いられるX線TDIカメラがその高速応答性を評価され売上げを伸ばしました。また、病理デジタルスライドスキャナも新製品の投入により売上げが増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は7,044百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は1,150百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

#### [その他事業]

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント(その他)の売上高は1,933百万円(前年同期比33.8%増)、営業利益は308百万円(前年同期は営業損失1百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、現金及び預金が2,440百万円、受取手形及び売掛金が2,638百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ4,863百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、製造用工場の新築に伴う建設仮勘定の増加により、有形固定資産が4,658百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ4,352百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,216百万円増加し、207,494百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が1,582百万円減少したものの、電子記録債務が2,750百万円、未払法人税等が1,554百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,928百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が670百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ798百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2,130百万円増加し、46,022百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が5,294百万円増加したほか、為替換算調整勘定が1,793百万円増加したことなどから、当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ7,085百万円増加し、161,471百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2,524百万円増加し、45,376百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は10,878百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金10,778百万円に比べ100百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は7,078百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得などによるものであり、前年同期に使用した資金3,759百万円に比べ3,319百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は2,316百万円となりました。これは主として、配当金の支払などによるものであり、前年同期に使用した資金1,999百万円に比べ316百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、経済や市場のグローバル化が進む中、決して楽観できない状況にあると認識しております。

平成26年9月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの実績及び直近の需要状況等を踏まえ、平成25年11月11日付けで公表いたしました業績予想を、次のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=100円、1ユーロ=140円を想定しております。

通期連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	110,500	18,100	18,300	12,600	156.73
今回修正予想（B）	115,200	21,900	22,300	15,100	187.82
増減額（B－A）	4,700	3,800	4,000	2,500	—
増減率（%）	4.3	21.0	21.9	19.8	—

（参考）通期個別業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	86,700	10,800	12,700	9,400	116.73
今回修正予想（B）	91,200	13,900	16,300	11,700	145.29
増減額（B－A）	4,500	3,100	3,600	2,300	—
増減率（%）	5.2	28.7	28.3	24.5	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,603	81,043
受取手形及び売掛金	24,183	26,821
商品及び製品	6,277	6,677
仕掛品	12,977	12,640
原材料及び貯蔵品	5,849	5,911
その他	5,062	4,755
貸倒引当金	△158	△191
流動資産合計	132,795	137,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,485	21,134
機械装置及び運搬具（純額）	7,801	8,133
工具、器具及び備品（純額）	3,391	3,480
土地	15,822	15,918
リース資産（純額）	207	171
建設仮勘定	4,831	9,362
有形固定資産合計	53,541	58,200
無形固定資産		
投資その他の資産	1,697	1,745
投資有価証券	2,412	2,373
繰延税金資産	6,217	6,191
その他	1,633	1,343
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	10,243	9,889
固定資産合計	65,482	69,835
資産合計	198,278	207,494
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,752	5,170
電子記録債務	4,432	7,182
短期借入金	1,380	1,409
1年内返済予定の長期借入金	186	183
未払法人税等	1,418	2,973
賞与引当金	3,156	3,122
その他	9,951	10,165
流動負債合計	27,277	30,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
固定負債		
長期借入金	7,084	6,993
退職給付引当金	7,609	6,938
その他	1,921	1,883
固定負債合計	16,614	15,816
負債合計	43,892	46,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	90,309	95,604
自己株式	△6,048	△6,049
株主資本合計	153,862	159,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	493
為替換算調整勘定	△530	1,263
その他の包括利益累計額合計	11	1,757
少数株主持分	512	558
純資産合計	154,385	161,471
負債純資産合計	198,278	207,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	50,474	56,680
売上原価	25,368	27,181
売上総利益	25,106	29,498
販売費及び一般管理費	16,622	18,420
営業利益	8,483	11,078
営業外収益		
受取利息	66	114
投資不動産賃貸料	25	38
為替差益	362	106
持分法による投資利益	35	34
その他	203	148
営業外収益合計	692	443
営業外費用		
支払利息	51	42
不動産賃貸費用	21	39
その他	20	17
営業外費用合計	92	99
経常利益	9,083	11,422
特別利益		
固定資産売却益	10	2
補助金収入	49	—
投資有価証券売却益	46	—
特別利益合計	105	2
特別損失		
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	17	12
固定資産圧縮損	37	—
特別損失合計	62	14
税金等調整前四半期純利益	9,127	11,410
法人税等	3,384	3,923
少数株主損益調整前四半期純利益	5,742	7,487
少数株主利益	10	19
四半期純利益	5,731	7,468

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,742	7,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	380	△47
為替換算調整勘定	3,475	1,816
持分法適用会社に対する持分相当額	49	5
その他の包括利益合計	3,906	1,773
四半期包括利益	9,648	9,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,594	9,214
少数株主に係る四半期包括利益	53	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,127	11,410
減価償却費	3,906	3,712
賞与引当金の増減額(△は減少)	△95	△51
受取利息及び受取配当金	△82	△130
支払利息	51	42
持分法による投資損益(△は益)	△35	△34
売上債権の増減額(△は増加)	723	△1,959
たな卸資産の増減額(△は増加)	703	382
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,859	587
その他	253	△637
小計	12,693	13,322
利息及び配当金の受取額	82	130
利息の支払額	△51	△42
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,945	△2,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,778	10,878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	53	565
有形固定資産の取得による支出	△3,471	△7,388
その他	△342	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,759	△7,078
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5	0
長期借入金の返済による支出	△96	△93
配当金の支払額	△1,852	△2,174
その他	△56	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,999	△2,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,737	1,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,757	2,524
現金及び現金同等物の期首残高	35,764	42,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,522	45,376

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	21,696	20,368	6,964	49,029	1,444	50,474	—	50,474
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	654	286	30	972	311	1,284	△1,284	—
計	22,351	20,655	6,995	50,002	1,756	51,758	△1,284	50,474
セグメント利益又は 損失(△)	7,997	6,113	1,038	15,148	△1	15,147	△6,664	8,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6,664百万円には、セグメント間取引消去△450百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	23,092	24,610	7,044	54,747	1,933	56,680	—	56,680
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	631	339	22	994	485	1,479	△1,479	—
計	23,724	24,950	7,066	55,741	2,418	58,159	△1,479	56,680
セグメント利益	8,598	8,158	1,150	17,908	308	18,216	△7,137	11,078

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7,137百万円には、セグメント間取引消去△554百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。